

<別紙>添付資料

1. 「よくある質問について」の質疑応答

会員：今回提出された総会運営規程であるが、前回の総会で改善するという  
ことになっていたはずだが直っていない。改善案として議論した結果と  
いうことか？ 本総会は総会運営規程に基づいて開催されることになる  
はずである。

理事：理事会で議論した結果である。

会員：3条と4条の修正箇所は、正社員の利益のために変更されるべきでは  
ないか。理事会の権限を強化するものになりかねない。本総会では、  
これらは無効として外して考えるべき。

議長：理事会で決定したことである。

会員：前回の総会議事録をみると、誤記を修正することは理事会に一任する、  
3条、4条については検討することになっている。それを検討していな  
いとすると問題ではないか。社員の権利を制約しているので問題であり、  
きちんと対応してもらわないと前に進めない。社員総会そのものに関わ  
る。

議長：理事会で検討している。

専務理事：この議案は予め配布しており、ご意見があれば言ってもらいたい  
とお願いしていた。なぜ今まで出してこなかったのか。これは理事会を  
経た結果である。

会員：形式的なことではない。社員が信任した人が総会で権利行使すべき。

専務理事：正会員に不利益があるのか。総論として可決されたものとして理  
事会では扱った。本総会は本規程をもって進めさせてもらえないか？

会員：規程にのっとってやっていかなければならない。

議長：今後検討する。

会員：議案書案を送ったというが、ここに来て意見は言えないのか？これ  
では発言しにくくなる。

専務理事：従前に出してある資料についてのことである。総会の議案につ  
いてはここで議論する。

2. 審議事項

(1) 第1号議案についての質疑応答

予算について

会員：事務局の人件費を見ると28年度は1540万円だったものが、29  
年度は2090万円になるとされている。500万円くらい増えている  
が、余裕があるということなら支部に還元するとかもっとよい使い方  
があるのではないか。

<別紙>添付資料

専務理事：事務局には人手が足りない。不正経理問題が起きないようにしっかりやりたい。登録費の値下げも検討しているが、昨年から、転職、産休、海外出張等で事務局の人員が減少している。平成29年度は事務局経費全体で600万円ほど増えることになる。収入見込みと均衡させる。なお、6月からは月次決算ができるようになる。

大会運営について

会員：国際化に向けて7人プール、15ポイントでやる必要があるが、会場のスペースもあり運営が難しい。誰がどのような方針で進めていくのか？ 人数が少なくてもできるのか？ 将来的な具体的な指針はいつまで出せるのか？ また、オリンピックの後にレガシーとして何か残せるのか？

議長：アジアのカデサーキットやマスターズは招致している。2020のテストイベントや各種大会の誘致については分かり次第共有したい。大会運営に関しては、JOCカップはシード選手が入ると運営時間がかかることになるので、人数を減らすことを考えている。人数の多い大会から考えて行く。また、ポイント対象試合も今季から変えていく予定である。レガシーについては、場所は残らないので、2020に向けて国際的側面も含めて運営していくことがレガシーと考えている。形を作るための活動である。

第1号議案採決 賛成41（委任状、書面決議を含む。）で可決。

(2) 第2号議案についての質疑応答

専務理事：協会がしっかり運営していくため、社員の山川氏と山口氏からも意見を聞きながら案を作成し、理事会で承認されたものである。

議長：理事会推薦枠については、登録費で事務局が回る体制にするという観点から、在京者が中心となって事務局業務を行うこと、会長、専務の補佐ができる者ということから考えた。執行部を担っていくということである。

会員：ミニムを担当しているが、普及の小学生や中学生はどの担当委員会に入るのか。

専務理事：主に育成であるが、事業委員会にも関わる。

会員：別紙は確かに分かりやすい。それぞれの業務に適合する人に理事に就任してもらおうという考え方である。しかし、理事の中には、専門ということだけでなく全体を見ることのできる人もいてよいはずである。理事は、株式会社でいうと取締役にあたるが、この別紙で書かれているのは執行す

<別紙>添付資料

る取締役ということになる。そもそも、執行する人が理事である必要があるのか。自部門の利益代表にならないか。理事はむしろ人間性の豊かな人になるべきではないのか。株式会社の取締役は、特に財務のプロでなくてもよく、その分野に精通した部下がいればよいのではないか。この表は、必ずしも理事の責務を示すものではない。

会員：別紙に書かれている資格・要件の適格者でなければ理事になれないということになるが、その判断は誰がするのか。例えば、語学についての言及があるが、専門家をひっぱってきてやることも考えられるので、当てはまる者しかできないということにはならない。また、地方においても行政と連携して税の問題とかを扱っている者もいる。理事の中にいなくて協会運営ができないのか。ここまで縛ってやる選出方法でよいのか。

会員：東京オリンピックを目指していることは分かる。しかし、会員の拡大も重要であり、それを支えるのは地方である。地方からの理事はどう考えるのか？ このようなやり方では場合によっては地方からの理事がいなくなってしまう。

会員：地方が頑張って今の日本協会があるのではないか。場合によっては中央の人だけになりかねない。もっと地方の声を反映していけばもっと発展するのではないか。

会員：東京都フェンシング協会も理事会を開いた。(前述の)会員が言ったとおり、ここでは専門性が求められているが、場合によっては部長クラスでもよい。法令上という場合の法令とは具体的に何条か出してもらいたい。何に違反するのか？

会員：地方で活動している声をどういう風に反映してもらえるのか？ 提案は、合理的、効率的な運営の案だとは思う。しかし、これでは推薦しようにも当てはまる人がいない。学校や大学の現場にいる人でないとできないのではないか？ そういうことにも是非配慮してもらいたい。日本全体を統括する組織として、中央集権型になってしまわないか？

会員：広く皆様の意見をといいつつ、ミスマッチという。人が集まって頑張って協会を支えているのに、誤解を生む表現ではないか。本議案が承認されないときはどうなるのか？

議長：委員会の配置は進捗管理というのものもある。以前は目が届かなかったし、一部の理事は事務局に負担をかけた。公平性の観点からという意味では、狭くなっている。もし、本議案が承認されない場合には、従前の制度がそのまま適用される。地方の声については、過去にブロック推薦というのがあったが、機能しなかった。理事会は毎月1回行われており、負担になる。今は、支部連絡委員会があり、支部の窓口として理事がいれば機能す

<別紙>添付資料

る。

理事：改正の一番の目的は、それぞれの理事が最大限に能力を発揮できることである。2020に向けて業務の質も量も多くなっている。東京の人でなくても構わない。支部連絡や NAVI はできる。一極集中は想定していない。適材適所ということである。

会員：これから2020が近づくともっと理事の仕事も増えて大変になるのは理解できる。しかし、このままだと地方の意見は吸い上げられない。理事に地方から何人か入れるのはバランスがよいと思う。考えてもらいたい。

議長：当初は6、7名地方から、あるいはブロックも考えたが、議論の中でこうなった。

会員：実際に大会運営では定年退職者が担当している。業務内容からはプレッシャーが大きい。地方の声を聞かないといけない。もし、立候補が足りないときはどうなるのか？

議長：理事会が声をかける。

会員：会員を増やすためには小学生が重要であるので、会費を考えてもらいたい。理事の割当については、副会長が3名必要だが、この中から副会長を当てはめるのは大変ではないか。

専務理事：小学生については、会費を下げるなど検討中である。副会長については、この中から選ぶ。担当理事は責任をもって業務をやってもらいたい。将来的には、高い所から業務全体を見てもらうにしても、現在は、委員会が回ってない。もちろん、別紙については、理事会の中でも意見があった。しかし、支部の人が推薦するにあたり、どういう人を推薦するのかの指針となる。

会員：女性役員を考えるべき。理事候補にすべき。

議長：女性委員会を設ける予定である。FIEからは25%を目標とすべきとされている。次の理事候補から考える。

会員：学識経験者にも是非入ってもらいたい。

会員：選出規程の2条1項(3)号は、一般の暴排規定のように広げるべきである。(5)号は、本来生計を立てている職務の事情によって辞めたような場合、次回は理事になってもよいのではないか。2項(1)号は、債務というより、不履行がある人とすべきではないか。(3)号は「非違行為」がないこととしているが、具体的にはどういうことか？

理事：ご指摘は検討させていただきます。「非違行為」は、暴力、セクハラ、パワハラといった行為を想定しており、本来理事になるにふさわしくない人を排除するための受け皿となるものである。

<別紙>添付資料

第2号議案採決 賛成22（委任状、書面決議を含む。）で否決。

なお、理事候補者選挙管理委員会は、山梨の赤池会員と、東京都からの推薦とすることとなった。

会員：前回通りというと、理事会推薦枠があるが、理事会推薦枠は全て選挙にしたかどうか。

専務理事：それは新しい提案であり、本総会で決めることはできない。

会員：動議は認められないということか。

理事：議案の内容についての動議ではない。本日書面決議で参加されている会員もおり、新しい提案は審議できない。

### 3. その他

#### 議案書関連

会員：議案書6ページに、シニアナショナルチーム選出方法の記載の中で、「常にコンディション等を把握しうる選手」との記載がある。地方にいる選手はだめということか。

強化本部長：この表現は、JISSで練習できる者から地方にいる者まで広く入れるようにしたものである。

会員：そういう趣旨は、この表現からは直接理解できない。分かりやすい文言に工夫してもらいたい。コンディションの把握の方法についても言及すべきではないか。

強化本部長：外国人コーチ、アシスタントコーチ、選手が相互に理解しあえることと考えている。

会員：そうすると、JISSでの練習の機会がないと難しいのではないか。結局外国人コーチが把握できなければだめなのではないか。

強化本部長：連絡を取り合う。

会員：議案書5ページの登録数の推移であるが、会員数が100人くらいしか増えていない。一般の増加が少ないのはなぜか。試合に出ないから登録しないのか。協会として対策は考えているのか？

専務理事：会員獲得委員会がアイデアを出している。今登録費を半額にしたら、収支のバランスから一般会員を1.5倍に増やす必要がある。しばらく時間をいただきたい。

会員：一般の人が増えなければ子どもは増えない。一般が増える対策を具体的に考えてもらいたい。

議長：ようやく収支のバランスがとれてきたところである。会員1万人に向

けて、皆様のお知恵を拝借しながらやっていきたい。

#### 岐阜県からの質問

##### (1) 登録料の件

専務理事：会員獲得委員会を中心に議論していく。

会員：前年度も同じようなことを言っている。登録者数について、支部が数値目標をもってやるために各論を言ってもらいたい。事例紹介の機会を設けてもらいたい。強化に偏ると普及がおろそかになる。次の対策をこういう場で聞かせてもらいたい。

専務理事：登録費のどこを安くするのか考える。

##### (2) 全日本選手権（個人戦）の入場料の件

専務理事：2015年の入場者は650名、2016年は885名である。

2016年は、前売り券を半額とし、当日券であっても会員証を提示すると半額にする、ということをやった。

議長：全日本個人は、観客満杯計画を考えたい。「満員大作戦」である。他競技の大会も参考にしたい。例えば、決勝は土日にやるといったことも考えられる。今年からできるか、アスリート委員会と相談しつつやっていきたい。

会員：満員大作戦とはよい回答である。その中で、ベストのコンディションで選手たちにやってもらいたい。有料にするには、それだけの価値のある大会にすべきである。会員の人たちが周囲に是非行こうといえる大会にしてもらいたい。

##### (3) ナビキャンプの件

専務理事：前は岐阜に連絡がいておらず迷惑をかけた。しっかりと現地の協会とこちらの担当者がコミュニケーションをとるよう心がけたい。

##### (4) カデの引率者の件

専務理事：引率者の人数の基準は具体的には決めていない。安全第一であることは言うまでもない。原則として、引率者は、監督及びコーチ、場合によっては総務の3名であるが、行く場所によって危険度が違うので、それも合わせて考えることになる。あまり引率者を増やすと、費用がオントップになって選手の負担も大きくなる。柔軟に考えたい。

会員：選手の底辺が広がっていくのはよいが、初めていくカデの選手も出てきており、保護者が不安になると子どもの芽を摘むことにもなる。保護

<別紙>添付資料

者が安心できるようにしてもらいたい。

2017年度事業計画

会員：10月8日の東京都ジュニアエペ選手権と全国ジュニアエペ選手権が重複している。

強化本部長：すでに東京都ジュニア選手権を他日に移動させているので問題ない。

会員：8月26と27日の「北海道サーブルチャレンジカップ」は「全国サーブルチャレンジカップ」の誤りである。会場は、札幌市中央体育館である。

会員：2018年1月18～21日は、第25回 JOC ジュニアオリンピックカップの日程の候補として挙げられているが、全国選抜のブロック大会がある地方があるので、避けてもらいたい。

専務理事：1月11～14日という方向で動いているが、決定はしていない。

委員会報告関連

会員：法務・倫理委員会の報告の中に商標登録というのがあるが、具体的には何か？

理事：スポーツ庁から各競技団体は商標登録を行ってビジネス化するよう指導があった。理事会でも議論し、ロゴの登録も検討したが、登録するに至っていない。例えば、「侍ジャパン」や「なでしこジャパン」といったようなアイデアがあれば是非ご提案いただきたい。

会員：機構改革委員会というのがあるが、組織図を見ると理事が理事会を監督するかのように見える。そうだとすれば、理事ではなく第三者になるべきではないか。

議長：機構改革委員会は、内閣府からの指導で、有識者を入れて内部から改革をしていくようにということでできた。

理事：不適切な経理問題があった後、協会立て直しのためにできた委員会であり、永遠に存在するものではない。まだ道半ばであるが、改革は進んできている。

会員：国際の活動について、国際フェンシング連盟の理事会、Comission や Council は、何をやっており、日本からどういう風に立候補し、また選挙されたのか？ 費用はどうなっているのか？ Commission と Council の訳語を決めるべきではないか。

理事：Commission は6個と選手会があり常設である。Council はコーチ、ベテラン、女性、フェアプレーなどがあるが常設ではない。FIEの委員会に

<別紙>添付資料

については、日本協会に対応する委員会があるときは、そこからの推薦で立候補者を出した。FIE の会議の費用などは FIE が負担する。Commission と Council の訳語は決めたい。

会員：パラリンピック対策であるが、2020 はどういう風に考えているのか。

議長：JISS で強化として練習をしている。対外的にも注目を集めている。予算は別である。相互に監査することも考えたが、なかなか難しい。また、選手選考やコーチ会議なども連携したいと考えているが、海外遠征のスケジュールもわからないので、今のところ進んでいない。

個別提案等

会員：太田雄貴氏は FIE の理事になったが、他の団体では国内競技団体でも役職にあるのが普通である。

専務理事：理事会で太田氏は理事候補者として推薦する予定である。

会員：昨年はいわて国体では、地方として大成功だった。日本協会、NEXUS、選手にこの場を借りてお礼を言いたい。

会員：定款の見直しをしてもらいたい。次回総会までに考えてもらいたい。

議長：定款の変更は必要に応じて行いたい。